

◆総会(平成 28 年 5 月 15 日)

『府中町国際交流協会平成 28 年度第 25 回通常総会』がくすのきプラザ 2 階研修室で開催されました。府中町長和多利様をはじめ多くのご来賓の方々のご臨席のもと、会員の皆さまの審議の結果、「平成 27 年度事業報告、決算報告」「平成 28 年度事業計画、予算」「役員追加選任」の 3 議案が全会一致で承認されました。皆さまのご協力、どうもありがとうございました。今年の総会は第 25 回という大きな節目を迎えました。当協会も平成 3 年の創設から 25 年、四半世紀にわたり活動を継続してきましたが、これもひとえに、会員の皆さまのご協力のもとより、町長様をはじめ、町行政・関係部署のご理解とご支援を頂いたお陰と、深く感謝しております。今後とも町との連携を深めながら、充実した事業をどうぞよろしくお願い致します。



今後とも町との連携を深めながら、充実した事業をどうぞよろしくお願い致します。

◆会員交流会(平成 28 年 6 月 19 日)

府中町国際交流協会主催の会員交流会を府中公民館で開催しました。

中国、ラオス、アメリカ、ベトナム、インド出身の外国人会員 22 名を含み、総勢 74 名の参加者がありました。当日の早朝はかなりの豪雨で心配しましたが、どなたの行いがよかったのか、開始時間の少し前には雨もあがり、参加者の足元も大丈夫でした。

まず、参加外国人の紹介をしてから簡単な手遊びゲームで参加者の緊張をほぐし、さっそくお料理を堪能しました。

テーブルには朝早くから準備して下さったポットラック(持ち寄り)の料理がずらりとならびました。エスニックな香辛料たっぷりの珍しい料理も多く、本当においしかったです。日本人や外国人の子供たちも多く参加して、会場をにぎわせてくれました。

今年のアトラクションは和太鼓と日本舞踊です。英語による説明もありました。安芸府中太鼓かっぽ連ひびき会による和太鼓の楽曲と獅子舞が披露された後、参加者が舞台上がり、和太鼓を体験させてもらいました。初めての和太鼓体験の人も多く、みなさん張り切って太鼓をたたきました。

広島県民舞府中やよいの会による日本舞踊では、伝統的な日本舞踊のほかに、なぜかハワイのドレスをきて、ハワイアンのような日本舞踊もありました。大きな会場でしたが、和太鼓も日本舞踊も舞台に映えて、とてもダイナミックでした。最後に、会員交流会恒例の大きじ引き大会を盛大に行い、にぎやかなうちに会を終了しました。



◆外国人とのスポーツ交流会(平成 28 年 8 月 7 日)

9年目を迎える卓球大会を2016年8月7日、くすのきプラザで催しました。この大会は次第に盛り上がりを見せてきており参加希望者が増えてきましたが、

今回は準備の都合もあり昨年と同じ外国人 16 名、日本人 16 名で試合を進めました。外国人はベトナム人 14 名と中国人 2 名、日本人は府中町協会シニア・レディース・クラブから 14 名、会員 2 名の構成です。

来年は、もっと盛況にするために、それぞれ 4 名ずつ増やしたいと思っております。卓球台を増やすなどして効率よく運営し時間をかけないようにするつもりです。

いつものように、若いベトナムの選手とお母さんぐらいの年齢の日本人選手との交流は見ていてほほえましく、楽しいものでした。今年は中国新聞の取材があり、翌日写真付きで報道されました。



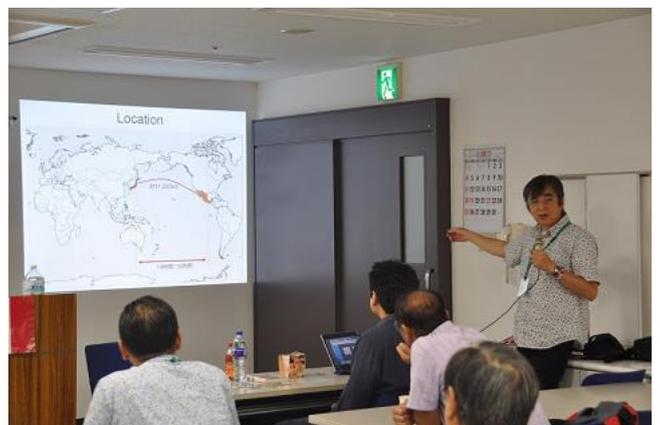
◆外国人による講演会(平成 28 年 9 月 4 日)

2016年9月4日の「外国人による講演会」には、メキシコ出身のオマール・ロザレスさんをお願いしました。彼は広島市立大学の博士課程に在学中で芸術を専攻しています。奥さんは日本人、メキシコ・シティで出会ったそうです。来日6年という事もあり日本語はお上手でスピーチは日本語と英語のチャンポンで行われました。

題目は「メキシコの文化と経済」ですが、食べ物の紹介が大半を占めました。日本と比べると、人口はほぼ同じですが GDP は四分の一程度の国です。チリー(唐辛子)種類が多くてメキシコ人が大好きであり、チリーでソースを作り何にでもかけて食べる習慣だそうです。料理はもちろんビールにまで入れて飲むこともあると聞き少々驚きでした。トルティーヤが主食ですが1キロが100円と言う安さ、これに肉や野菜の料理を挟んで食べます。米国のチェーンレストランである「タコ・ベル」のトルティーヤは、揚げていますがメキシコのは焼いたままです。又豆の種類も多くて好んで食べます。日本と変わった習慣と言えば、お盆に相当する行事にドクロの形をしたお菓子を作りそれに名前まで付けて家に飾ったり、食べることです。

今回は参加者の皆さんがいろいろ質問をしたおかげで、その回答からメキシコについて多くの事を知ることができました。メキシコにおいて、古来使用されていた言語が死滅状態であり、19世紀に侵略したスペインの言語のみが公用語となっている事に違和感を受けましたが、南米の国々全てがスペイン語(一部ポルトガル語と英語あり)の国であることからスペイン人の統治力の高さとスペイン語の威力を改めて感じた次第です。

最後の締めくくりとして、当協会の当津理事が、メキシコと日本の各統計値の比較やマツダメキシコ工場に仕事で出張した時に余暇に見聞したことを写真によって紹介してくれました。マフィアがいて危険な地域がある事も知りました。



◆英語であそぼう(平成 28 年 10 月 22 日)

くすのきプラザ小アリーナで小学生を対象とした『英語で遊ぼう!』を開催しました。町内の大きな行事と重なった為キャンセルもありましたが会場には 14 名の小学生とたくさんの保護者の方が参観して下さいました。受付が済んだ子供たちから、アシスタントのお姉さん(モニカさん)と簡単な英語を使った遊びでウォーミングアップをしました。その後イギリス出身のジェイミー先生とハロウィンや生活に因んだ言葉や感情表現、色など簡単な英語を使ったゲーム等を楽しみました。少し難しい表現もあって戸惑う子もいましたがアシスタントのモニカさんのヘルプで楽しく参加できるようになり笑顔で答え楽しい時間を過ごしました。活動の後半は、ハロウィンについて話し、”トリック or トリート“(”いたずらとごちそうどっち?”お菓子をくれないといたずらしちゃうよの意味)の練習をした後ハロウィンウォークをしました。お家役のスタッフの所を回り“I m〇〇”(私は〇〇です。)と名乗ってお菓子をもって歩きました。室内でしたがみんな楽しそうにお菓子を集め『英語であそぼう』は笑顔のうちに終了しました。反省点は多々ありましたが、これを機に楽しみながら英語に親しんでいってもらえたらと思っています。



◆第 15 回中学生英語暗唱・外国人日本語スピーチ大会(平成 28 年 12 月 18 日)

2016 年 12 月 18 日(日)、町内の中学生 12 人、ゲストスピーカー 6 人、外国人 4 人が参加し、くすのきプラザ 1 階ギャラリーで第 15 回中学生英語暗唱大会・外国人日本語スピーチコンテストを開催しました。結果は、つぎのとおりです。

【中学生英語暗唱の部】

今回は府中緑ヶ丘中学校からの参加が少なかったものの、町外の中学校からの参加もあり、総勢 12 人が大勢の聴衆の前でやや緊張しながらも熱のこもった堂々とした素晴らしい発表を行いました。最優秀賞は次のとおりです。最優秀賞 1 年生大勢登直也さん 2 年生服部心遥さん 3 年生三熊佑依さんまた、3 年間連続で出場された 3 年生の福本早希さん、三熊佑依さん、清藤百華さんには、皆勤賞が贈られました。



【ゲストスピーチの部】

府中小学校 6 年生の児童 5 人が、自己紹介と行ってみたい国について、会話形式で発表しました。また、広島県立安芸府中高等学校国際科 1 年生の平川理沙さんが、流暢な英語でスピーチを披露しました。

【外国人日本語スピーチの部】

ベトナム、中国、ノルウェー国籍の 4 人が日本語でスピーチを披露しました。最優秀賞は、「日本の生活」というテーマでスピーチをしたチャン・ティ・トゥ・フェンさんが受賞しました。



◆国際親善ボーリング大会(平成 29 年 1 月 29 日)

参加者 19 名のうち 6 名が外国人会員でした。

出身は中国 3 名・アメリカ 1 名・ポーランド 1 名・フィリピン 1 名でした。

この大会にポーランド出身者とフィリピン出身者が参加したのは初めてです。

外国人と日本人 3 人でチームを作り、合計 6 チームです。各自 2 ゲームを投げました。

府中町の施設ではなく、ボーリング場に直接集合だったので、間違えず来てもらえるか心配しましたが、開始時間にみんながそろうことができました。

ほとんどの人がボーリングは初めてまたは本当に久しぶりのプレーで、ボールはなかなか思うように進んでくれませんが、楽しそうな歓声が会場にあふれていました。

ゲーム後は会場内のレストランでステーキランチを楽しみながらゲーム結果に一喜一憂しました。



◆外国人による講演会(平成 29 年 2 月 18 日)

2017 年 2 月 18 日の第 16 回「外国人による講演会」は、ハンガリー出身のドゥロー・アーゴタさんをお願いしました。

アーゴタさんはハンガリー第 2 の都市デブレツェンにある「デブレツェン大学」で日本語を学び、6 年前に交換留学生として初来日、弘前大学を経て、現在広島市立大学国際学研究科博士後期課程に在学中です。

研究テーマは、「朝鮮人被爆者」について。「はしのゲン」を読んで原爆の悲惨さを知ったのがきっかけだそうです。

日本にとってあまり馴染みの無い東欧の国、ハンガリーの紹介をとても流暢な日本語で話して下さいました。

有名な観光地のシンボリック存在のくさり橋、王宮跡の王宮博物館、聖イシュトヴァーン大聖堂、日本人には馴染み深い温泉、ヘレンド（磁器）、ハンガリー刺繍、ハンガリースープ、トカイワイン、パプリカなどハンガリーならではの文化、歴史、食べ物等について写真を交えて詳しく紹介して下さいました。

ハンガリーを訪れ、直接現地の文化に触れた経験のある参加者へのインタビューもあり、遠い存在に感じていた国をより身近に感じることができました。

30 名を超えるたくさんの方々にご参加頂き、ありがとうございました。



◆国内視察研修(平成 29 年 3 月 12 日)

今年もバス二台をチャーターしました。総勢 67 名の参加者の内外国人 4 割強、小学生以下 2 割強という、バラエティー豊かな視察研修となりました。

日本人・外国人ともに家族連れでの参加が多く、ほのぼのとした視察研修でした。

集合の朝は震えるほど寒く、どうなるだろうと心配しましたが、時間の経過とともにどんどん温度があがり、温かで明るい春の一日となりました。

バスの中で参加者の自己紹介をすませ、お菓子とお茶を楽しんでいたらずぐに三原につきました。



三原では、道の駅神明里でだるま面相書きを体験しました。小さい子供たちも参加できる体験で、いろいろな楽しいだるまが出来上がりました。

昼食後は、尾道の千光寺公園でロープウェイに乗りました。

3分半の空からの景観を楽しみました。

まだまだ桜の季節には早いはずなのですが、参加者の皆さんの日ごろの行いが良かったのか、種類の違う桜が満開に近い場所もあり、山はもう春の装いでした。



温かい春の日をみんなで楽しく有意義に過ごせました。

◆放課後子供教室「国際交流教室」

当協会会員の村上ボジェナさんが、府中町教育委員会社会教育課が主催する放課後子供教室推進事業における「国際交流教室」の講師を務められました。

1月25日～3月1日までの毎週水曜の放課後、町内5校の小学校を回り、各校でおよそ1時間、25人の児童に自国ポーランドについての授業をしてくださいました。

プロジェクターを使ってポーランドのさまざまな写真を見せてもらい、ポーランドの紹介をしてもらいました。子供たちは日本と異なる地形や文化、言葉に興味津々で熱心に聞き入っていました。

その後、ポーランドでよく作られるペーパーフラワーの作り方を教えてもらい、一緒に作り楽しみました。

特別な先入観を持たない子どもたちから異国の文化に触れることの重要性を実感しました。



◆語学教室(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)

平成 28 年度は日本人対象の 5 教室と外国人対象の日本語教室を開催しました。

日本人対象の 5 教室は幼児英会話教室・児童英会話教室・入門英会話教室・初級英会話教室・中級英会話教室です。

語学教室は安芸府中商工センターの部屋をお借りして開催しています。英会話教室の講師は英語ネイティブの先生です。

子供たちの教室はそれぞれ定員 10 名です。例年 2 倍以上の申込があり、抽選で受講者をきめています。対象は英語初心者の子供たちです。外国人の先生に慣れ、英語の楽しさを体験する教室です。それぞれの教室は隔週土曜日午後 45 分間で、年間 24 回開催しました。

最初は戸惑っておとなしかった子供たちですが、すぐに先生と元気よく英語であそべるようになりました。1 年間のうち、6 月と 11 月に一度ずつ参観日を設けました。保護者のみなさまは短い間の子供たちの変化にびっくりされていました。

大人の英会話教室は 3 クラスです。入門クラスは原則第 1～第 4 木曜日 19:15～20:15 の 1 時間です。初級と中級クラスは隔週火曜日 18:30～20:30 の 2 時間です。それぞれ 12 名程度の定員としています。受講生のみなさまは年齢性別も様々で、仕事帰りに受講する生徒さんもあります。

入門英会話教室は年間 48 回開催し、それ以外の教室は年間 24 回開催しました。

外国人対象の日本語教室は第 1～第 4 日曜日、10:30～12:00 開催しました。ボランティア講師による教室です。平成 28 年度のボランティア講師は 8 名でした。受講生にはいろいろな国の人がいますが、今年度一番多かったのはベトナム人で、日本語初心者の方が多く参加しました。府中町国際交流協会の日本語教室は誰でもいつでも参加できます。ですので、毎回何人の生徒が参加するのかわかりません。30 名を超えることもあり、まったくゼロの日もあります。講師の先生方もなかなかたいへんです。

今年度の日本語教室は年間 42 回開催し、延べ 359 人が受講しました。

また、日曜日に参加できない外国人のために、木曜日にボランティア講師 1 人で小規模な日本語教室を開講しました。平成 28 年度は 41 回開催し、延べ 214 人の参加者がありました。

日本語教室の受講生が府中町国際交流協会の活動に参加して下さる場合も多く、活動に外国人の参加が増えました。

